

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名:WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	195名(連結)
連結子会社	和井田精機股份有限公司(台湾) WAIDA Europe GmbH(ドイツ)

役員

代表取締役会長	和井田 光 生
代表取締役社長	森 下 博
取締役副会長	久 保 朝 義
常務取締役	比 良 謙 吾
常務取締役	疋 田 寿 久
取締役(監査等委員)	松 村 忠 典
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏および山下英一氏の両名は、社外取締役であります。両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況

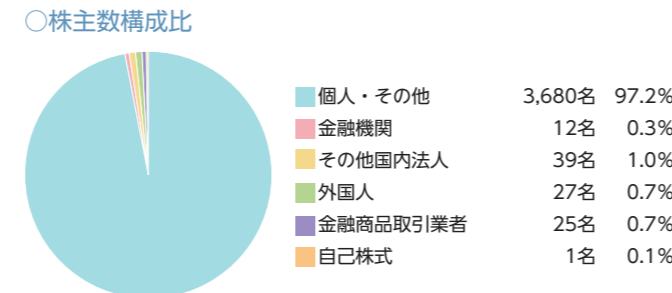
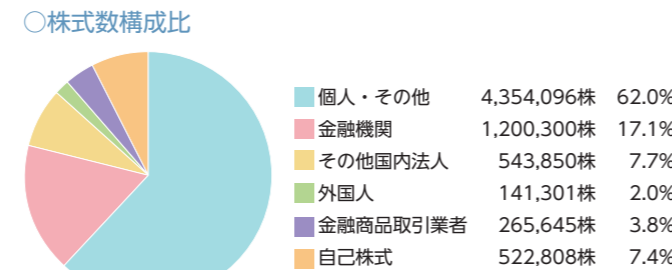
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式522,808株を含む)
株主数	3,784名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	436,993	6.71
和井田 俣生	326,060	5.01
株式会社十六銀行	321,300	4.93
株式会社三菱UFJ銀行	256,000	3.93
和井田製作所従業員持株会	198,416	3.05
和井田 叔子	196,800	3.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	181,000	2.78
和井田 克子	121,200	1.86
和井田 雅生	120,800	1.85
岐阜信用金庫	110,000	1.69

(注) 持株比率については、自己株式(522,808株)を控除して算出しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

第96期 株主通信
(上半期のご報告)

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



高山市街から望む乗鞍岳(岐阜県高山市)

業績ダイジェスト(連結)

第96期上半期(2024/4/1~2024/9/30)の当社グループは、期初の受注残と底堅く推移した受注を背景に期初計画を上回る結果となり、2024/11/5に上半期の業績予想を上方修正しました。合わせて通期業績につきましても、見直しを行っております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第96期 上半期実績	3,883百万円 前年同期比 3.8%増 期初計画比 11.9%増	403百万円 前年同期比 23.7%減 期初計画比 43.9%増	394百万円 前年同期比 35.0%減 期初計画比 28.0%増	226百万円 前年同期比 40.7%減 期初計画比 4.6%増
第96期 通期業績予想 2024/11/5 修正開示	7,530百万円 前年同期比 0.1%減 期初計画比 5.0%増	580百万円 前年同期比 40.1%減 期初計画比 24.3%増	627百万円 前年同期比 42.5%減 期初計画比 19.9%増	382百万円 前年同期比 47.4%減 期初計画比 4.1%増



ごあいさつ

株主の皆さまには、日頃、当社グループの企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

混沌とした世界情勢が続く中、市場環境は厳しい状況が続いております。しかし、新製品をはじめ高位・高機能機種による需要喚起により、上半期は期初計画を上回る受注・売上を確保することができました。下半期に向けて、さらに受注・売上を上積みできるよう、グループ社員が一丸となり取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解をいただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 森下 博

第96期上半期の概要

第96期上半期（2024/4/1～9/30）は、東欧・中東での争乱の長期化や、中国における景気の長期停滞、国内の設備投資に対する慎重姿勢など、厳しい受注環境が継続しました。その状況下で、APX-F50やGIG-202など切削工具関連の高位機種を中心に営業展開を進め、期初計画を上回る売上を確保することができました。

利益については、計画どおりに設備投資等の施策を進めていることから費用負担が重しとなっておりますが、売上の増加にともない期初計画を上回りました。

以上の結果、売上高は3,883百万円（期初計画比11.9%増）、営業利益は403百万円（期初計画比43.9%増）、経常利益は394百万円（期初計画比28.0%増）となりました。また、第96期中間配当金は、期初に公表いたしましたとおり1株につき16円とさせていただきます。

第96期の見通し

第96期下半期（2024/10/1～2025/3/31）について、国内外の市場環境は引き続き厳しい展開が予想されます。このような状況下、先端のデジタル技術を搭載した新機種SPG-XVの受注が拡大しており、需要の掘り起こしに貢献しております。また、米国市場において支店を現地法人化し営業・サポート体制の強化を図り、中国市場では展示機を設置し商談を加速させるなど、攻略余地のある市場毎に施策を講じ、来期に向けた受注獲得に努めてまいります。

なお、上半期業績が計画を上回ったことを受け、通期業績予想も見直しており、2024/11/5に開示しております。

配当金は期初に公表いたしました計画を据え置き、第96期期末配当金は1株につき16円、左記の中間配当金と合わせ年間では1株につき32円を予定しております。

トピックス

米国に子会社を設立いたします

2024年10月25日開催の取締役会において、北米市場の営業拠点であるアメリカノースカロライナ支店を現地法人化（連結子会社化）することを決議いたしました。2025年1月に設立する予定で準備を進めており、北米域でのさらなるシェア拡大に取り組んでまいります。

機械工業デザイン賞“日本力（にっぽんぶらんど）賞”を受賞いたしました

当社製品「デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV」が、第54回（2024年）「機械工業デザイン賞 IDEA（主催：日刊工業新聞社、後援：経済産業省）」の「日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞いたしました。

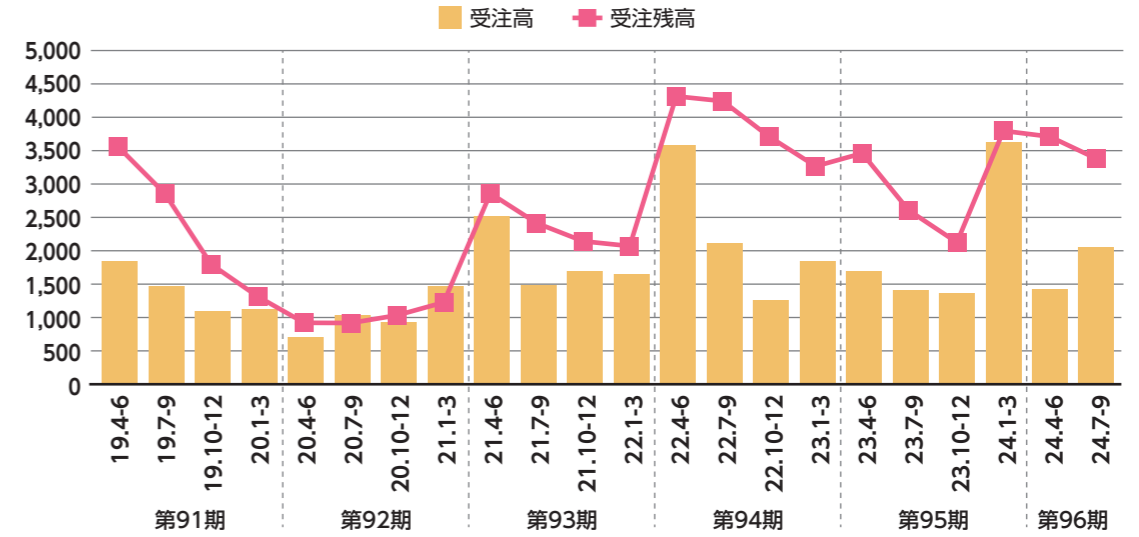
機械工業デザイン賞の受賞は7回目となりますが、今回の「日本力（にっぽんぶらんど）賞」は、当社において過去最高となる権威ある賞です。

受賞製品は「誰もが研削の達人へ」をコンセプトに開発され、最新のデジタル表示機能などにより、スキルレスで高精度、高生産性を実現しております。



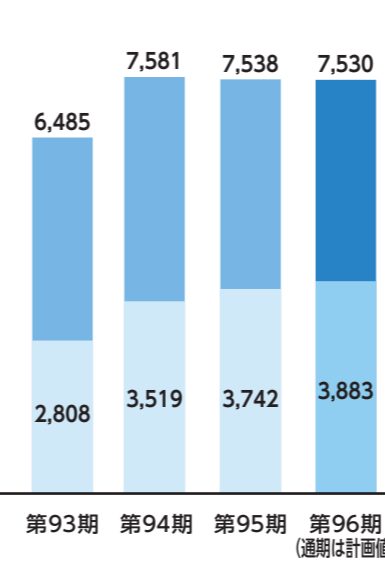
デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV

受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



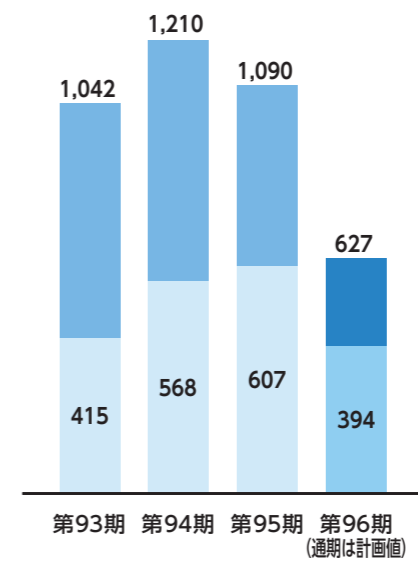
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



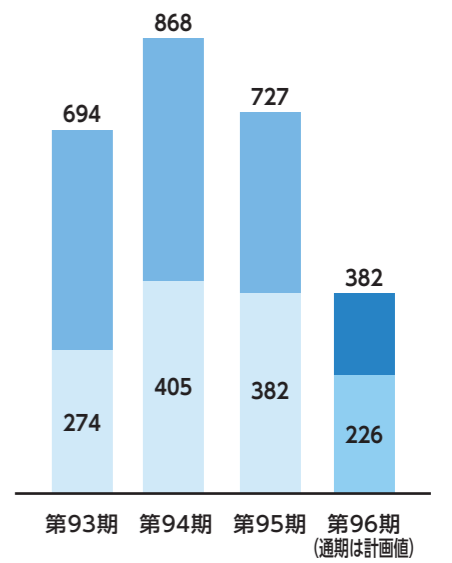
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



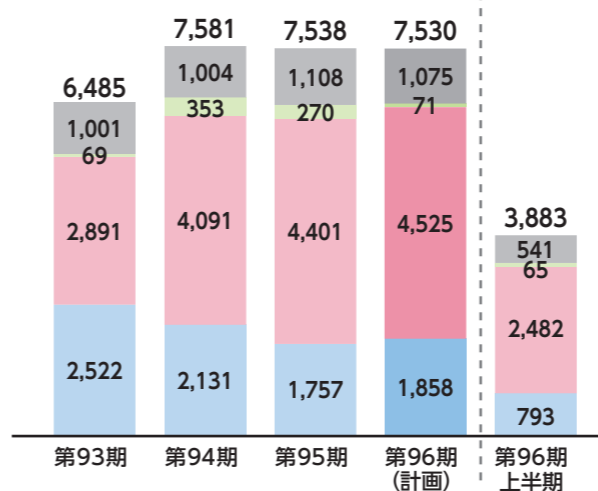
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



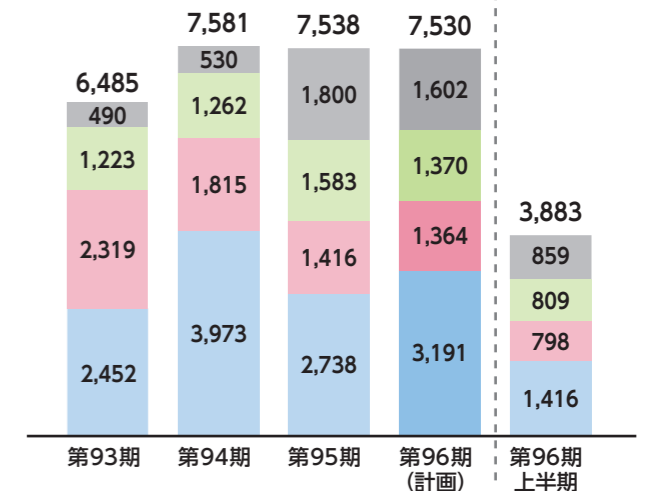
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ アジア地域(中国を除く)
■ 中国 ■ 欧米等



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。